



Jabra GN

“リモコンいらず・場所いらず・手間いらずのAI 搭載カメラ” Jabra PanaCastはWEB会議の必須アイテム

関東・関西の主要ターミナル駅を中心に貸し会議室アットビジネスセンターを運営している株式会社ハッチ・ワーク。2019年12月より、全国11施設のアットビジネスセンターにおいて世界初の高性能180°パノラマ4K対応プラグアンドプレイ会議用ビデオカメラ『Jabra PanaCast』を導入し、無料貸し出しを行っている。

HATCHWORK

Company

Customer: 株式会社ハッチ・ワーク
Web Site: <https://hatchwork.co.jp/>
Country: 日本

Profile

関東・関西の主要ターミナル駅を中心に19施設4787席の貸し会議室アットビジネスセンターを運営。2008年池袋にて1号施設をオープンしてから現在まで、延べ291部屋7484席を手掛け、累計来場者数460万人を超える。利便性のよい駅近立地に、きれいで低価格な施設が評判となり、リピート率が7割超と業界トップクラス。ホテルグレードの「プレミアム」、無人運営の「サテライト」、企業の会議室をシェアリングする「シェア会議室」と運営タイプで4つのバリエーションを展開。

Jabra Solution

Jabra PanaCast

- 商品番号
8100-119 / 標準価格 ¥108,000
- 180°の自然な視界
- 高性能映像技術
- 多数の会議システムで利用可能な互換性

WEB会議を実施する利用者のストレス軽減

競合他社との差別化のために、2018年7月からWEB会議の実施に最適な貸し会議室を目指し、手軽に持ち運びができる小型のマイクスピーカーとWEBカメラのセット【WEB会議サポートセット】の無料貸し出しを開始。このサービス自体は好評ではあったものの課題もあったと代表取締役会長兼CEOの大竹啓裕さん（以下、大竹さん）は次のように話す。

「【WEB会議サポートセット】の無料貸し出しのサービスはいろいろなお客様にご利用いただき好評ではあったのですが、そのなかでもWEBカメラについては2018年のサービス開始当時、納得のいくものが見つからず最大の課題となっていました。従来のWEBカメラでは画角に限りがあるためどうしても全体が映らず、表情が読み取りにくいという問題があり、これはWEB会議を実施する利用者のストレスとなっていました」

その課題を解決し、より快適なWEB会議の環境を提供するため、貸し会議室業界で初めて『Jabra PanaCast』の導入を決めたと大竹さんは続ける。

「導入にあたってはデモ機をお借りして実際に体感し、180°パノラマ4K対応高性能カメラ、AI搭載などのスペックがよかったため、決めました。『Jabra PanaCast』製品導入後のテスト期間のアンケート（ハッチ・ワーク調べ）ではWEB会議におけるストレスが“91%軽減”という結果もでていましたね」



“ 180°パノラマ 4K カメラにより
広角で全体がクリアに映る
臨場感のある WEB 会議が実現 ”

製品の価値を体感したらもう他には戻れない

アットビジネスセンターでは【WEB 会議サポートセット】として『Jabra PanaCast』を無料貸し出ししている理由についても大竹さんに伺ってみました。

「製品の価値を“体感”してもらうことがポイントだと思っています。実際に使ってみると、『もう他のカメラには戻れない』と実感していただけるのですが、その価値を知らない段階では“有料で借りよう”とはならないですから、思い切って無料で提供しています」

価値を知らないと購入につながらない——この考えは、Jabra も同じ。無料デモ機を積極的に貸し出し、実際にご利用いただき、その音質と使い勝手の良さを実感していただいている。

「まずは知ってもらえるように、各施設のラウンジにディスプレイしていて、御社のプロモーション動画も流して、実際に手に取ってもらって、と PR を続けています。そして“無料”ですから、利用者はかなり増えてきましたし、狙い通り一度ご利用した方は『もう戻れない』というお声をいただいています」

最大の特徴として、持ち運びができるサイズであり、かつデバイスに接続するだけで自動インストールがされ、セットアップが完了するといった手軽さにより、すぐに肉眼に近い視点での WEB 会議が実現できることも魅力と『Jabra PanaCast』製品を評価している。

貸し会議室を借りるよりも「アットビジネスセンターのほうがいいね」となるという狙いでした。『Jabra PanaCast』を見つけてからは「これだ」と思い、すぐに試して、即決で導入を決め、本当によかった」(大竹さん)

AI 搭載のカメラが人数を自動的に把握して最適な画角調整を行っているため、リモコンがいらないことから、今後は「リモコンいらず・場所いらず・手間いらずの AI 搭載カメラ」のキャッチコピーで PR。

『Jabra PanaCast』は、WEB 会議においてストレスなく円滑なコミュニケーションを図るための必須アイテムと言えそうだ。



左より、株式会社ハッチ・ワーク代表取締役社長兼 CEO 大竹 啓裕さん、GN オーディオジャパン株式会社代表取締役社長 安藤 靖

WEB 会議システムの質を上げる

Zoom (米国発の WEB 会議サービス) がきっかけとなり、WEB 会議用のカメラやマイクスピーカーを提供し始め、そこから WEB 会議システムの質を上げることがアットビジネスセンターの価値につながると大竹さんは話す。

「オフラインの貸し会議室とオンラインの WEB 会議は競合相手みたいな位置関係になりそうなのですが、わざわざ会議室を借りて会議していた人が、「オンラインでいいじゃないか」となる。でも、そんなに単純な話ではない。WEB 会議にもなると色々形態があり、1 対 1 や複数対複数など、より複雑に。その中でも複数の時に、カメラやマイクスピーカーの性能が悪いと本当にストレスが掛かり、WEB 会議の満足度が下がります。貸し会議室の印象も下がり、使わない人が増える。逆に言えば、WEB 会議の満足度を上げられたら、他の